



## Cisco Secure Firewall 移行ツールの FAQ

- [Cisco Secure Firewall 移行ツールのよく寄せられる質問 \(1 ページ\)](#)

### Cisco Secure Firewall 移行ツールのよく寄せられる質問

- Q.** リリース 3.0.1 の Cisco Secure Firewall 移行ツールでサポートされる新機能は何ですか。
- A.** Cisco Secure Firewall 移行ツール 3.0.1 では、Cisco Secure Firewall 3100 シリーズを Palo Alto Networks からの移行先デバイスとしてのみサポートするようになりました。
- Q.** リリース 3.0 の Cisco Secure Firewall 移行ツールでサポートされる新機能は何ですか。
- A.** リリース 3.0 では、次の機能がサポートされています。
- クラウド提供型 Firewall Management Center への移行。
- Q.** Firewall 移行ツールでポリシーを移行できる送信元プラットフォームとターゲットプラットフォームは何ですか。
- A.** Cisco Secure Firewall 移行ツールは、サポートされている PAN ファイアウォールプラットフォームから Threat Defense Virtual プラットフォームにポリシーを移行できます。詳細については、「[サポートされる送信元 PAN プラットフォーム](#)」を参照してください。
- Q.** PAN から Threat Defense Virtual への変換におけるハードウェア制限は何ですか。
- A.** Cisco Secure Firewall 移行ツールは、PAN OS バージョンが 6.1.x 以降の場合に構成を移行します。
- Q.** PAN ファイアウォールはインターフェイスグループをサポートしますか。
- A.** いいえ。PAN ファイアウォールは、Threat Defense Virtual への変換でインターフェイスグループをサポートしていません。
- Q.** NAT で Management Center でサポートされていない FQDN を使用しています。どうすればよいでしょうか。
- A.** NAT の FQDN は Management Center でサポートされていませんが、同様に Cisco Secure Firewall 移行ツールでも FQDN はサポートされていません。送信元と同じ構成を複製する

には、FQDN にマッピングされた IP アドレスのセット全体を移行後に手動で構成する必要があります。

- Q. 送信元ファイアウォールにターゲットよりも多くのインターフェイスがある場合はどうしたらいいですか。
- A. 送信元ファイアウォールにターゲットよりも多くのインターフェイスがある場合は、移行を開始する前に、Threat Defense Virtual にサブインターフェイスを作成します。
- Q. Cisco Secure Firewall 移行ツールは集約インターフェイス（ポートチャンネル）を移行しますか。
- A. Cisco Secure Firewall 移行ツールは集約インターフェイス（ポートチャンネル）を移行しません。移行を開始する前に、Management Center でポートチャンネルインターフェイスを構成する必要があります。
- Q. VR 間ルーティングは Management Center でサポートされていますか。
- A. ネクストホップがネクスト VR であるルートはサポートされません。
- Q. PAN からルートテーブルを抽出するためのコマンドは何ですか。
- A. **Show routing route** コマンドを使用します。ルートを txt ファイルに貼り付けたら、形式が正しいことを確認します。マルチ VSYS の場合は、関連する VSYS のルートのみを貼り付けます。これらのインターフェイスは Management Center でサポートされていないため、ルーティングテーブルからトンネル、ループバック、および VLAN ルートを削除することを推奨します。
- Q. [Ignored Configuration] のファイルはどうすればよいですか。
- A. [Ignored Configuration] には、PAN 専用の XML タグが含まれていますが、これらは Management Center とは無関係です。したがって、それらは無視されます。[Ignored Configuration] は慎重に確認する必要があります。無視セクションに反映される予期しない項目は、Management Center で手動で設定する必要があります。
- Q. 移行前レポートにエラーが表示されます。インターフェイスを無視して続行できますか。
- A. インターフェイスなしで続行することを選択した場合は、ルートの移行もありません。
- Q. 解析の失敗の一般的な原因は何ですか。
- A. 解析の失敗は、インターフェイスに複数の IP アドレスが設定されている場合や、IP アドレスにサブネット（/32 または /128 など）が割り当てられている場合に失敗します。続行するには、IP アドレスを修正して、移行を再試行する必要があります。
- Q. [Pre-Parsing Summary] で NAT がゼロとして表示されるのはなぜですか。
- A. 詳細については、「[解析のサマリー](#)」を参照してください。
- Q. PAN 構成をエクスポートするにはどうすればよいですか。
- A. デバイスが Panorama で管理されている場合は、ゲートウェイから設定を抽出する必要があります。Panorama 設定をゲートウェイと統合し、設定を抽出します。

詳細については、「[Palo Alto Networksファイアウォールからの設定のエクスポート](#)」を参照してください。

- Q.** アプリケーションマッピングとはどのような機能ですか。
- A.** アプリケーションマッピングを使用すると、アプリケーションを HTTP、SSH などの対応するターゲットアプリケーションにマップできます。アプリケーションに基づくルールを移行することもできます。

詳細については、「[Map Configurations with Applications](#)」を参照してください。

- Q.** "application-default" のポリシーはどうなりますか。
- A.** 次の手順を実行します。
- アプリケーションに "any" が選択され、ポートが "application-default" に設定されている場合、ポリシーはサポートされず、無効として移行されます。
  - アプリケーションに "xyz" が選択され、ポートが "application-default" に設定されている場合、ポリシーはサービスが "any" に設定されて、アプリケーション "xyz" で移行されます。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。